

「ことばの指導」

4月の校長室からの中で、学校教育目標を新しくしたことを述べました。その第1に掲げているのが、

「コミュニケーション力と基礎的・基本的な学習内容の定着・向上を図る」です。

コミュニケーション力と基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために必要なことの中に「ことば」の理解があると思います。聾学校は長い歴史の中で、「ことば」の指導を重要視してきました。本校も70数年の歩みの中で、脈々とその流れを継承しています。

本校の先生方は、毎日子どもたちにどのように指導していけばいいのか、いろいろ考えて指導しています。その中で、毎日さりげなく子どもたちが「ことば」に触れ、楽しく、興味関心を抱くように工夫している場所があります。その場所は、階段を上った2階のところにあるホワイトボードです。

このホワイトボードには、日付と曜日、そして先生が毎日その日の学習内容、ニュース、季節にかかわることなど、多方面の中から子どもたちに伝えたいことや、考えてほしいこと、ちょっと知ってほしいことなどについて、優しい読みたくなるような表現で書かれています。

子どもたちは、登校し階段を上っていくと、このホワイトボードが目に入ります。また、水飲み場の近くでもあるので、昼休み歯磨きをして子どもたちが必ず集まる場所でもあります。ですから少なくとも1日2回は目にとまります。

自然とホワイトボードに書かれている内容を読み、声に出し、友だちと一緒に考えるなど、子どもたちそれぞれが楽しみながら「ことば」と触れ合っています。

毎日毎日のこのほんの少しの取組が積み重なり、子どもたちの「ことば」の理解や物事への興味関心が広がっていくように思っています。

私も毎日階段を上り、子どもたちと同じように、今日はどんなことが書かれているのか、ワクワクしながらこのホワイトボードを眺めています。

